

議長（川上文浩君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

5 番議員 山口正博君。

5 番（山口正博君） 誠颯会の山口正博でございます。

本日は大項目2点、市民の生活に一番身近な問題と、今さまざま問題が起こっておりますけれども、そのきっかけになる質問を2項目させていただきます。

まず1点目でございますが、水道料金の見直しと今後の方針はということで質問をさせていただきます。

6月県議会において知事が水道料金について、1割程度の値下げが可能と考えており、水道料金の設定について関係市町と協議を進めていきたいとのことでしたが、それを受けて本市の見通しと今後の方針をお伺いいたします。

本市の水道事業について、給水量の将来予測、大規模地震対策や水の安全確保などの維持管理経費や、投資額と水道料金の収支バランスがどのようになっているのか。また、直近の長期収支計画に比べ現状の推移はどのようになっているのかお示しいただくとともに、さきの岐阜県議会の一般質問の中で、県営水道料金の見通しと今後の方針について質問があり、それに対し知事は、長期的な視点に立って、地震対策など十分な安全対策を実施しながら収支バランスのとれた長期収支計画を策定し、適正な料金設定により経営を行っていく必要があるとしており、この長期収支計画は3年ごとに10年間の収支を推計しており、平成26年度からの計画について今年度中に見直しを行うことにしている中で、これまでの維持管理経費や施設改良費の削減に加え、給水量が前回計画時の推計よりも約1%増加し、料金収入として10年間で約5億円の増加が見込まれることや、大容量送水管整備事業の国庫補助採択がされたことにより10年間で36億円の補助が見込まれるなど増益要因があり、現在1立方メートル当たり107円となっている料金が1割程度の値下げが可能と考えており、今後精査を行った上で関係市町に対して十分な説明を行いながら、平成26年度から水道料金の設定について協議を進めていきたいとの答弁でした。これを受け、本市として水道料金の見通しと今後の方針についてお伺いをいたします。

1番目といたしまして、本市の水道事業について、給水量の将来予測、大規模地震対策や水の安全確保など維持管理経費や、必要な投資額と水道料金の収支バランスは良好ですか。それとも問題がありますか。問題があるとすれば、どのような問題ですか。また、それを改善するためには何が必要なのか、お考えがあれば、そのお考えをお伺いいたします。

2番目といたしまして、本市の直近の長期収支計画と現状の推移を比べたときに、計画どおり推移していますか。また、推移していませんか。推移していなければ、どこに問題がありますか。その解決策にお考えがあれば、お伺いいたします。

3番目といたしまして、県営水道料金の設定について、協議が調い値下げが実現した場合、

本市の水道料金に反映させるお考えはありますか。また、反映できるとすればいつごろになるとお考えですか、お伺いをしたいと思います。

議長（川上文浩君） 執行部の答弁を求めます。

水道部長 西田清美君。

水道部長（西田清美君） それでは、水道料金の見通しと今後の方針につきまして、1つ目の御質問の水道事業の収支バランスについてからお答えをいたします。

なお、水道事業の現状について議員の皆様を初め市民の皆様に御理解をいただくため、過去からの経緯を含めまして説明させていただきますので、若干長い答弁となりますが、お許しをお願いいたします。

本市の水道事業の営業活動に伴う収益的収支、つまり収入と支出のバランスにつきましては、実質的には長年にわたって恒常的な赤字となっており、一般会計からの高料金対策補助金を受け入れることで表面上黒字を維持しているのが現状でございます。地方公営企業の経費は、地方公営企業の経営に伴う料金収入をもって充てるということが原則となっておりますが、高料金対策補助金に頼らなければいけない現状には問題があると認識しております。

昭和40年代から宅地開発などにより人口が急増し、それに伴い給水人口も増加するとともに1人当たりの水道使用量もふえてきたため、従来から市が持っていた水利権だけでは水道の需要を賄い切れなくなり、市民の皆様将来にわたり安定的に水道水を供給するため、平成3年度から川合浄水場及び水利権を県に移管し、100%県水を受水することにいたしました。水道水の将来にわたる安定供給と引きかえに、当時の受水費が対前年度比で約7億円増加し、以降、一般会計からの高料金対策補助金などの受け入れをせず黒字となりましたのは平成20年度のみという状況でございます。

こうした状況に対し、水道料金を平成4年度に10.6%、6年度に6.4%、8年度に16.54%と1年置きに値上げするとともに、一般会計からの高料金対策補助金を平成6年度に約1億2,400万円、平成7年度から12年度までは毎年3億円を受け入れております。

なお、平成3年度からの累積赤字は、平成7年度に11億5,000万円まで膨らみましたが、料金改定と高料金対策補助金の受け入れにより平成13年度に解消しております。

累積赤字の解消にあわせ、平成13年度に水道料金を6.25%値下げしましたが、高料金対策補助金は減額しながらも、引き続き平成19年度まで1億5,000万円から2,000万円の間で継続して受け入れており、一方で一般会計からの支援を受けつつ値下げを行ったという状況が続いておりました。

平成19年度には水道施設は維持更新の時代となったため、加入時に納めていただく負担金を建設工事費に充てる収入から施設の維持管理などに充てる収入としたことや、給水人口の増加傾向を見込んだことで水道料金を7.0%値下げし、平成20年度から高料金対策補助金の受け入れもなしとしました。

こうした水道料金の改定とともに、収入の増加と費用の削減にも努めてまいりました。水道料金徴収業務の委託化などは職員数の削減や収納率の向上につながっており、職員数につ

きましては、平成18年度の18人から24年度には13人に削減し、料金収入につきましては、平成18年4月時点では収納率97.68%でしたが、平成25年4月時点では収納率99.28%へと向上させております。

また、料金収入の対象とならない漏水を減らすための対策を行うなど費用削減に努め、料金徴収費や修繕費、光熱水費などの費用については、平成24年度決算では平成18年度に比べ約3,400万円削減しております。また今後、配水池やポンプ場の統廃合など施設の効率化を進め、年間約1,300万円の経費の削減を見込んでおります。

このように、収入をできる限りふやし、費用を減らす努力を継続しているところでありますが、平成19年度をピークに給水人口が減少に転じたことや、景気の落ち込み、さらに節水型家電製品の普及も重なって水需要が大きく減少したことで、平成21年度からは再び赤字に転じました。平成23年度は一般会計からの高料金対策補助金を5,000万円受け入れ、平成25年度の予算では1億円の補助金を予算化している状況でございます。結果的に見れば、平成13年度の6.25%、19年度の7.0%の合わせて約13%ほどの値下げが、先ほど説明をいたしました外的要因もあり、本市水道事業に大きな負担となっていると言えます。

次に、2つ目の質問の長期収支計画と現状の推移の比較についてお答えをいたします。

平成21年3月策定の可児市水道ビジョンにおける財政計画の見通しと直近の平成24年度決算実績を比較してみますと、収益面では給水収益が財政計画の見通しと比べ約2億1,800万円減少し、費用面では受水費が同様に約1億500万円減少しております。この差額の要因といたしましては、先ほども申し上げましたが、給水人口が計画見通しのようには増加せず、現状では減少していること、平成20年のリーマンショック以降の経済不況、節水型家電製品の普及など外的要因が大きく影響し、水需要が減少したことによるものと考えております。

次に、3つ目の質問の県営水道料金の値下げと本市の水道料金への反映についてお答えをいたします。

これまで説明をさせていただきましたとおり、収入の増加と費用の減少に努力しているものの、依然として一般会計からの補助金などがなければ恒常的な赤字の状態であります。地方公営企業の料金は、地方公営企業法において、能率的な経営のもとにおける適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができるものでなければならないというふうに規定されております。恒常的な赤字の状態が健全な運営とは言えず、このような状態では水道料金を値上げしなければいけない状況であります。しかしながら、水道料金の値上げは最後の手段として、さらなる費用削減など経営努力に努めております。

その中で、県に対する受水費の値下げ要望について、平成23年3月に可茂地区と東濃地区の受水市町協議会の意見交換会を初め、以後3回の意見交換会を経まして、平成24年4月にそれぞれの協議会を一本化し、受水市町連絡協議会を設立して、昨年度から岐阜県と協議をしております。協議に当たりましては、単に料金の値下げを要望するという形ではなく、県の水道事業決算状況を検証し、こちら側から具体的な値下げ提案をするという形で協議を進めてまいりました。

また、県議会においても、水道料金について御理解と御支援をいただき、さきの6月の県議会の一般質問では、知事が1割程度の値下げについて協議を進めているとの答弁をされていることは御承知のとおりでございます。

それらを受け、現在、県との協議の最中ではありますが、県営水道も耐震化や災害に対する施設整備が今後も続くことを考えれば、市の水道料金の値下げにつなげることができるような大幅な値下げの期待は難しいと考えております。

なお、1割の受水費の値下げがどの程度の影響になるかについてでございますが、あくまで大まかな試算でございますが、平成24年度決算において受水費は約11億7,000万円でございます。その1割は約1億2,000万円となります。これを水道料金に換算しますと、給水収益は約19億1,000万円でございますので、約6.3%になります。口径13ミリで水道使用量20立方メートルの1カ月料金では、約176円という計算になります。

また、県水の値下げが一時的に行われたとしても、それがいつまで続くのか、値下げが継続される期間も含め慎重に見きわめる必要があります。短期間に水道料金を値上げ・値下げすることは、市民生活の安定を欠くことにもなりますし、安易に後年にツケを回すことがあってはいけませんので、策定中の中長期収支計画の中で慎重に検討を進めることが必要であります。

本市の水道料金は、県から水を受水している11市町で比較いたしますと、口径13ミリで水道使用量20立方メートルの1カ月料金でいきますと、安いほうから3番目の料金でございます。県から水を受水している市町で、現在黒字経営となっている市町においては、受水費の値下げを反映できる市町もあるかもしれません。しかし、説明させていただきましたとおり、本市の水道事業は恒常的に実質赤字であることや、将来においても給水人口の減少傾向が続くものと考えておりますし、さらに6月議会の川合議員の一般質問に対してお答えをいたしましたように、老朽管路の更新や耐震化整備に多額の費用を要するため、受水費の値下げは、現状では水道料金の値下げというより、値上げの抑制につなげることができるかどうかというようなものであると考えております。

今後、受水費の値下げをどのように本市水道事業に反映させるかにつきましては、市議会や上下水道経営審議会などの御意見を承りながら検討してまいりたいと考えておりますので、御理解をお願い申し上げます。以上でございます。

〔5番議員挙手〕

議長（川上文浩君） 山口正博君。

5番（山口正博君） 3番目の質問に対して再質問をさせていただきます。

県知事の答弁にもあったように、「市町と協議」という言葉が出てきていますし、今ほど説明がありました協議を行っていますということなのですが、どのようなことが協議の主なものになるのでしょうか。

議長（川上文浩君） 水道部長。

水道部長（西田清美君） 協議につきましては、今まで1回行われおりました、第2回目の

協議が今月の末に行われる予定になっております。その中で提案を幾つか受けまして、各市町の状況がございますので、それがどうかというような協議をしまいるということと、県の中長期収支計画について説明を受けながら、私どももどういふふうに今後計画を立てていくのかといったような内容でございます。以上でございます。

〔5番議員挙手〕

議長（川上文浩君） 山口正博君。

5番（山口正博君） その協議の内容、具体的には述べられないような内容でしょうか。

議長（川上文浩君） 水道部長。

水道部長（西田清美君） ただいま申し上げましたように、県の水道料金というのは、単に1立米幾らということではなくて、基本料金と従量料金、実際に使った量に応じた料金、そういう構成があります。その幾つかのパターンを、基本料金にウエートを置いたものとか、従量料金にウエートを置いたもの、そういったものを幾つか提示していただいて、どういう形がいいのかというような協議でございます。

〔5番議員挙手〕

議長（川上文浩君） 山口正博君。

5番（山口正博君） そうしますと、その協議によって、もし県のほうが料金を下げるということであれば、それによって可児市は可児市の下がる率というのが決まってくるということによろしいですか。

議長（川上文浩君） 水道部長。

水道部長（西田清美君） 今、議員がおっしゃったように、例えば県で総額1割下がったとしても、市町のあり方によって、基本料金にウエートを置いたやり方にするのか、従量料金にウエートを置いたやり方のほうを採用するかによって、これは全市町1パターンで選択しなければなりませんけれども、それによって可児市では反映が8%になる場合もありますし、ほかの市町では7%になったりいろいろあります。以上でございます。

〔5番議員挙手〕

議長（川上文浩君） 山口正博君。

5番（山口正博君） ただいまの説明を聞いていますと、今年度の平成25年、1億の一般財源を見ているので、ほぼとんとんかなあというふうに思われますが、過去に6.7%の値下げはありましたけれども、市民も少しでも安くというふうに望んでいますし、我々の会派としても以前からこれに取り組んでおりますので、幾らか反映できるようにお願いをしまして、この質問は終了をさせていただきます。

インターネットの動画 (YouTube) 検索方法



- 「可児市 コミュニティネットかに」のトップページを開く。
- 「市議会・選挙」をクリック。



- 「市議会」をクリック。

可児市議会トップページ - Windows Internet Explorer

http://www.city.kani.lg.jp/s/wkai/index.html

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り 可児市議会トップページ

可児市議会

KANI CITY COUNCIL

電子メールでのお問合せはこちら
議会だより掲載の写真募集について



Facebookもチェック

可児市議会
いいね! 155

可児市議会
本日の教育福祉委員会において、公益財団法人岐阜県学校給食会から理事長および事務局次長を参考人として招致し、異物混入問題を受けて学校給食費が、今後どのように学校給食の安心安全を守るための取組改善していくかについて質疑を行い、報告を受けました。



Facebookソーシャルログイン

今日 12月 18日 (水曜日) 印刷 週 月 予定リスト

- 12月 18日 (水曜日)
- 13:00 可児高校訪問(正)
- 16:00 討論終了
- 12月 19日 (木曜日)
- 09:00 議会運営委員会(予備日)

スタート

職員むらば - Windows In... 市議会・選挙 - 可児市... 可児市定例会第2号 平... 可児市議会トップペ...

13:38

- トップページ
- 本会議会議録
- 委員会会議録
- 本会議日程
- 一般質問
- 議案・議決結果
- 請願・陳情
- 意見書
- 議会だより
- 議長交際費
- 政務活動費
- 委員会概要
- 議員の紹介
- 議会のルール

- 画面を下方方向へスクロール。

可児市議会トップページ - Windows Internet Explorer

http://www.city.kanok.jp/s/wka/s/index.html

可児市議会 Facebook

可児市議会

本日の教育福祉委員会において、公益財団法人岐阜県学校給食会から理事長および事務局長を参考人として招致し、異物混入問題を受けて学校給食が、今後どのように学校給食の安心安全を守るための取り組み改善していくかについて質疑を行い、報告を致しました。

Facebookソーシャルプラグイン

今日 12月 10日 (水曜日) 印刷 週 月 予定リスト

12月 18日 (水曜日)

13:00 可児高校訪問(正)

16:00 討論締切

12月 19日 (木曜日)

09:00 議会運営委員会(予備日)

12月 20日 (金曜日)

09:00 第5回定例会本会議5日目(最終日)

10:30 議会運営委員会

12月 24日 (火曜日)

11:00 可児市民栄誉表彰式(正・副)

12月 25日 (水曜日)

13:30 可児管内一部事務組合議定例会(正・総)

12月 26日 (木曜日)

19:00 可児市消防団年末夜警出動式

ケーブルテレビ・インターネット放送視聴の注意・免責事項

議会放送の一覧は下のリンクをクリックしてください。

USTREAM YouTube

可児市議会事務局
〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地
TEL0574-62-1111 FAX0574-63-3972

可児市議会トップページ

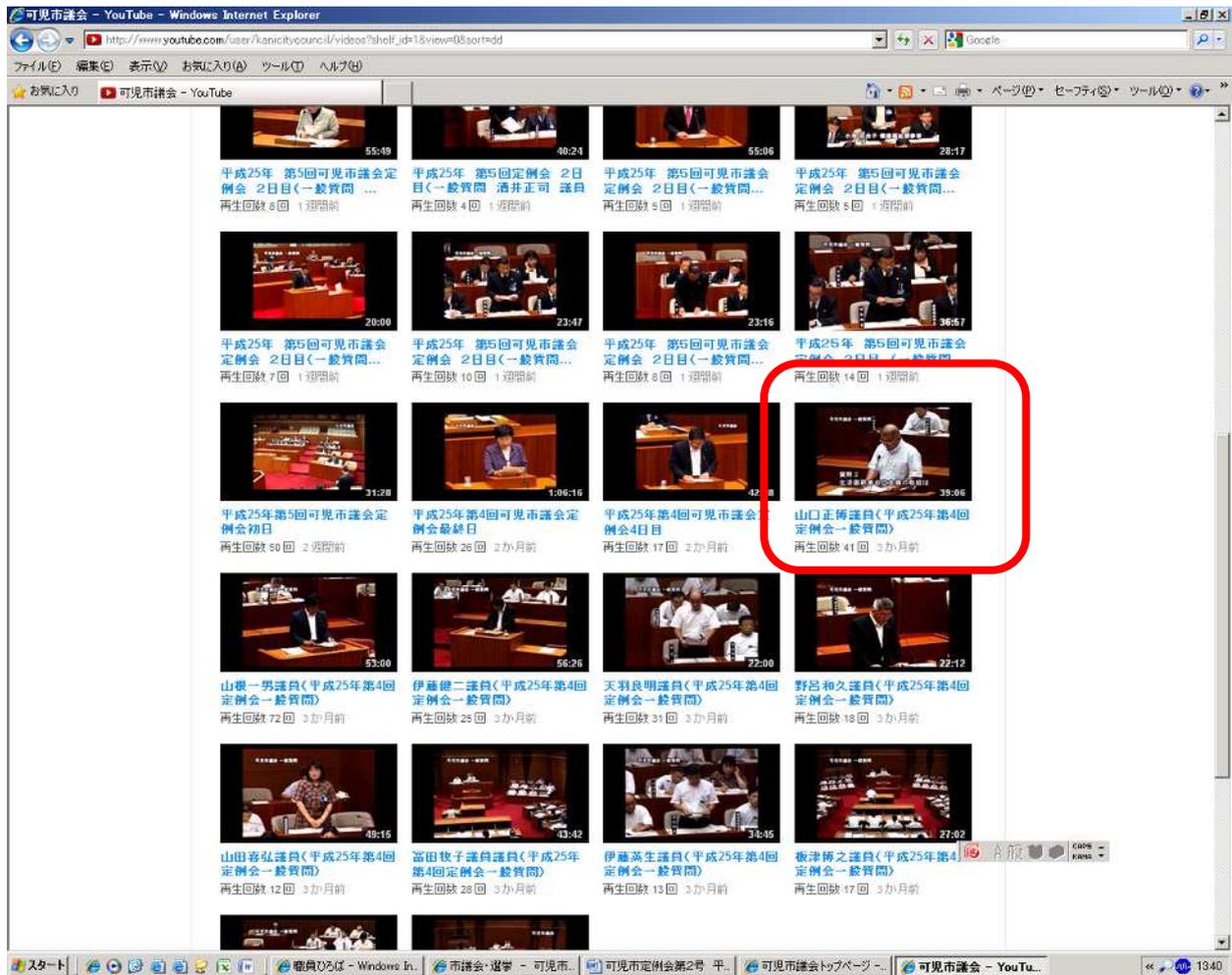
- 「YouTube」をクリック。



- 「 > 」をクリック。



- 「全て表示 アイテム100件以上」をクリック。



- 「山口正博議員（平成25年第4回定例会一般質問）」をクリック。

